

鶏、アヒルなどを飼っている皆さんへ

今年4月に、熊本県で鳥インフルエンザが発生しました。中国・韓国などで継続して発生している中、これから渡り鳥の飛来する時期になります。

4原則を厳守し、鳥インフルエンザの感染を予防してください！

① 防鳥対策

野鳥と接触しないように、鶏舎内で飼いましょう！

放し飼いは感染の危険度が非常に高くなります。防鳥ネット（網目2cm以下）で鶏舎内に野鳥が入らないようにするとともに、ネットの破れがないかどうか、再点検をお願いします。

餌を鶏舎周辺にこぼさない。また保管は密閉容器で！

② 飲水対策

水道水を与えましょう！

※どうしても無理なら塩素消毒して下さい。

（雨水や川水等はウイルス・細菌に汚染されている危険性があります。）

③ 野生動物・衛生害虫対策

野生動物の侵入防止や衛生害虫の駆除をしましょう！

イタチ・ネズミ等の野生動物やハエ・ゴキブリ等の衛生害虫が鶏舎内にウイルスを持ちこむ危険性があります。また、わずかな隙間が獣害に繋がります。

④ 人による伝播対策

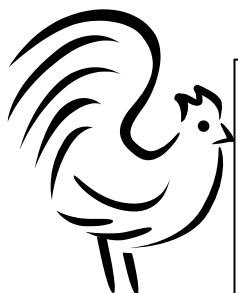
踏み込み消毒槽や消石灰の周辺散布により、ウイルスを鶏舎内に持ち込まないようにしましょう！

車のタイヤ等を消毒しましょう。

部外者の鶏舎への立ち入りを制限しましょう！

動物を触った後は、手洗い・うがいをしましょう！

※ 飼養している鶏、アヒルの羽数・健康状態などを記録しておきましょう。また異常がみられた場合には、直ちに当所まで連絡をお願いします。

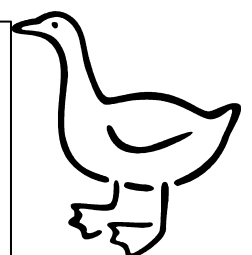


京 都 府 丹 後 家 畜 保 健 衛 生 所

与謝郡与謝野町字下山田 616

TEL：0772-43-1125（夜間・休日転送）

FAX：0772-43-1124



高病原性鳥インフルエンザ とは？

【症状は？】

- ▼複数の鶏が突然死亡
- ▼神経症状（沈うつ、震え）
- ▼呼吸器症状（咳・くしゃみ）
- ▼顔・とさか・脚の腫れや出血
- ▼下痢
- ▼これらの症状を示さず急死



↑多数の鶏が急死

踏み込み消毒槽とは？

【目的は？】

- ▼鶏舎内に病原体を持ち込まないため

【方法は？】

- ▼プラスチックコンテナに消毒剤を入れておき、鶏舎に入るときに長靴を浸すなどして消毒します。
- ▼逆性石鹼や消石灰が身近です。
- ▼汚れたらこまめに取り換えましょう。
- ▼蓋があると消毒効果が長持ちします。
- ▼前洗い槽があるとさらに効果的です。



↑液体の消毒槽と前洗い槽

↓消石灰の消毒槽



消石灰の周辺散布とは？

【目的は？】

- ▼鶏舎周辺の消毒
- ▼野生動物等の忌避

【方法は？】

- ▼鶏舎を囲むように1平米あたり1kgを散布します。
- ▼粒状消石灰は粉が舞いにくいのでおすすめです。
- ▼強いアルカリ性なので、目に入ったり吸い込んだりすると危険です。ゴーグル、マスク、ビニール手袋をしましょう。



↑鶏舎周辺に散布した状態

※飲水消毒やその他ご不明な点は、表の連絡先にお問い合わせください。